

岐阜県中津川市

『競争社会』ではなく『共想社会』を目指し 地域で最新・最幸のサービスを提供

『競争社会』ではなく『共想社会』を目指し、他と同じものをつくらない、新しい価値を創造する。高齢者、障害児童に対するリハビリテーションやデイサービスなど、医療・福祉を中心としたサービスを展開。専門家の知見を活かした新たな価値の提供と雇用を創出し、地域サービスや働く場の選択肢を拡充した。利用者のためになるサービスと地域の潜在ニーズの掘起し、地域に根ざした最新・「最幸」のサービスを創造、提供し続けている。

●所在地	岐阜県中津川市中一色町3-14 三洋堂ビル1階	●設立	2012年
●電話/FAX	0573-65-5225/0573-65-5225	●資本金	300万円
●URL	https://ohisama.group/index.php	●従業員数	85人
●代表者	代表社員 藤井 真也		



異業種企業とのコラボで日常生活にとけ込んだサービスを提供

行政や異業種企業とも積極的に連携し、空いていたテナントを利活用して認知症の知識を深められるよう認知症相談ができるカフェを運営。一般の方も利用でき、誰もが利用したくなるようなおしゃれな空間を演出した。またショッピングモール内に設置した通所型の買い物リハビリサービス事業は、利用者本人には通う楽しみが増えてリハビリの効果が上がり、店舗側は来店者数が増えるという、ショッピングモールと利用者両者にとってWIN-WINの関係を構築。幸福度をあげるための独自のアイデアで次々と質の高い新サービスを展開している。



認知症相談のできるカフェ事業

リハビリテーション専門家が障害児に寄り添う新たな支援事業

障害児童支援事業では、‘ありの巣’をイメージしたワクワク感を感じさせるデザイン性の高い空間を演出し、児童も大人も通いたくなる施設を提供した。障害児の運動・生活能力を高め、社会との交流を深められるよう、個々に合わせたリハビリプログラムを言語聴覚士、作業療法士等専門家が作成し、家族の相談や今後の支援計画立案サービスを提供。地域のサービスの質の向上や連携を図るために、他施設とのネットワークを構築し、制度解釈など勉強会等を定期的に運営し、地域のサービスの質の向上に貢献している。



みんなが通いたくなる ‘ありの巣’

地域の陶器製造技術を活かしたリハビリ器具のオカリナを開発

地元の陶器製造職人と同社の療法士が連携し、障害者・高齢者でも扱いやすく、リハビリに向けた形状のオカリナを開発。プラスチックの笛の音や質感ではなく、地元産の陶器のあたたかみのある質感や音色を味わって欲しいという思いからである。現在新しいオカリナを用いたリハビリプログラムを作成中。オカリナはあえて白地とし、リハビリの一貫として絵を描くことも検討。



地域資源を活かしたリハビリ用オカリナ